

令和元年度 長野県流域下水道事業経営戦略の進捗状況について

平成 31 年（2019 年）3 月に、長野県流域下水道事業について、令和元年度の公営企業会計への移行に合わせ、中長期的な経営の基本方針や投資・財政計画等を示す「長野県流域下水道事業経営戦略」を策定しました。

この戦略では毎年度成果指標等により進捗状況を管理・検証し、その結果を公表することとしており、令和元年度の状況は以下のとおりです。

○ 経営基盤の強化

| 成果指標 | R 1 目標 | R 1 実績 | R 5 目標 | R 1 実績の要因 |
|------------------|--------|--------|--------|--|
| 省エネ・創エネによる光熱水費削減 | 0.1 億円 | 0.2 億円 | 1.1 億円 | （「R 1 実績」は令和元年東日本台風災害により被災したクリーンピア千曲を除いています。） |
| 経常収支比率 | 100.0% | 100.3% | 101.9% | |
| 汚水処理原価 | 83.6 円 | 74.8 円 | 81.3 円 | 令和元年東日本台風災害により被災したクリーンピア千曲において汚水の簡易生物処理を行ったことによる電気料の減、計画修繕の中止等 |
| 企業債残高 | 221 億円 | 218 億円 | 194 億円 | 事業の見直し等 |

○ 下水道施設・設備のストックマネジメント・強靱化

| 成果指標 | R 1 目標 | R 1 実績 | R 5 目標 | R 1 実績の要因 |
|-----------|--------|--------|--------|-----------------------|
| 設備の改築・更新数 | 0 | 0 | 57 | |
| 耐震化完了施設数 | 42 | 42 | 52 | アクアピア安曇野塩素砂ろ過棟（1 施設増） |

○ 環境負荷の軽減、脱炭素社会構築への貢献（長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン）

令和元年東日本台風災害によりクリーンピア千曲が被災し、同処理場では令和 4 年 3 月の全施設復旧に向けた対応を行っているため、「R 1 目標」及び「R 1 実績」はクリーンピア千曲を除く 3 処理場（クリーンレイク諏訪、アクアパル千曲、アクアピア安曇野）の状況となります。

| 成果指標 | R 1 目標 | R 1 実績 | R 5 目標 | R 1 実績の要因 |
|---------------|--------|--------|--------|--|
| エネルギー自給率 | 8.4% | 8.7% | 13.7% | <省エネルギー> 安定的な処理場管理を前提とした、水処理攪拌機等の間欠運転の継続的な実施 <創エネルギー> アクアピア安曇野 ・太陽光発電の開始（令和元年 11 月） ・消化ガス発電設備を 1 台増設（計 9 台） （令和 2 年 3 月） |
| 省エネルギー化率（削減率） | 0.5%減 | 11.1%減 | 6.6%減 | |
| 温室効果ガス削減率 | 1.5%減 | 8.7%減 | 10.9%減 | |

※ 長野市公共下水道の焼却炉廃止に伴い、平成 28 年度から発生汚泥の全量を千曲川流域下水道（上流）で焼却処理を行っています。そのため、汚泥受入に係る燃料使用量、消費電力量を差し引いて各値を算出しました。